

平成 26 年 1 月 12 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

音楽礼拝

司 会 : 小木秀夫兄
奏 楽 : 倉知 契牧師
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 209 (慈しみ深き) 1・2・3 節
主の祈り
聖 書 : 創世記 1 章 26 ~ 28 節 (P.2)
(朗読: 加藤由美子姉)
音 楽 : 原田恵・竹内功
証 し : 原田恵己
メッセージ : 「神様の熟慮」 倉知 契牧師
さんびと 献金 : ♪ 聖歌 656 「感謝します」
頌 栄 : ♪ 「ハレルヤ」(B♭)
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 音楽ミサへようこそ。原田さん、竹内さんに心から感謝します。
- ◇ 成人を迎える若者に、神様の特別な祝福をお祈りします！
- ◇ 来週の午後昼食後に「奉仕者会」をします。
皆様で心を一つに教会を建て上げてゆきましょう。
- ◇ 感謝&ビジョンノートを書いて下さい。締切は 1/12
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大A: マタイ 4 章~9 章 B: 創世記 12 章~28 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [2014年1月19日] [聖餐式]・[愛餐会]
[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 持田樹理姉、聖書朗読: 大神久美姉]
[ピアノ&リード: 米田 香姉、アシスト: 大神雄兄、大神久美姉]
[献金: 持田樹理姉、受付: 太田昌子姉]
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 持田樹理姉



「われわれのかたち、空の鳥と、われわれにかたどって人を造り、地のすべてのものを治めさせよう。」 創世記一章二十六節

新春・音楽ミサへようこそ。私の元旦の楽しみの一つはウィーンフィルのニューイヤーコンサートをテレビで観ること。今年も堪能しました。指揮者ダニエル・バレンボイムも素晴らしかったです。昨年病気から復帰した日本が誇る指揮者・小澤征爾さんと、故武満徹さんの若き日の対談が、「音楽」という本になっています。

(武満)…西欧の豊かな響きを知るためにはやはり時間があるんですよ、本当はね。ところがいま日本人がぶつかっている問題は西洋人が当面している問題と同じところまで来ちゃってる。西欧人たちが300年ぐらいかけて、ゆっくりとつくりあげてきた西欧音楽の響きを、日本人は100年もかけないで追いつき追い越そうとしている。そこに無理や歪みが生じるのは当然でしょう。西欧で言えばバッハが教会で演奏してからカラヤンがベルリンホールで演奏するまで300年ぐらいかかっている。本当は教会の響きとか、街の、馬小屋でやってた音楽会とか、そういう無数の経験を知らなきゃいけない。僕は別に保守主義者じゃない。むしろ進歩的な意見の持ち主だけれども、音楽はさ、どっちかというとな原始的だもんね。…

演奏家、楽器、音、空間、響き。一つの音楽が創り上げられるまで数世紀にわたる、雄大な時の流れがあるというのは驚きです。そう思うと今日、音楽ミサを通してバッハやヘンデルが歌われるのも感慨深いものがあります。いえ、もっと遡れば、彼らが演奏する題材である「聖書」は2000年以上の時を経ていますから、筋金入りの書(=The Book)と言えます。慌てて飲み込まないで、するめのように一噛み一噛み味わってみるのはいかがでしょう。聖書を無料で贈呈しています。

さて、最後に上記の本からもう少しだけ。今度は小澤征爾さん。

(小澤)…で、いつ頃から僕が音楽に興味を持ったかという話になって、うちのおふくろはキリスト教なんだよね。おふくろが教会に通っていて、僕たちもだから日曜学校で讃美歌を歌って音楽を覚えたんだ、結局は。…

世界を代表する指揮者が、教会の日曜学校から登場したとは心躍ります。同時に、今日来てくださった皆様との出逢いも大きな喜びです！感謝致します。

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契